

2020年3月期 第3四半期決算説明資料

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2020年2月5日



第3四半期連結決算ハイライト

売上高40億増収、営業利益は10億増益

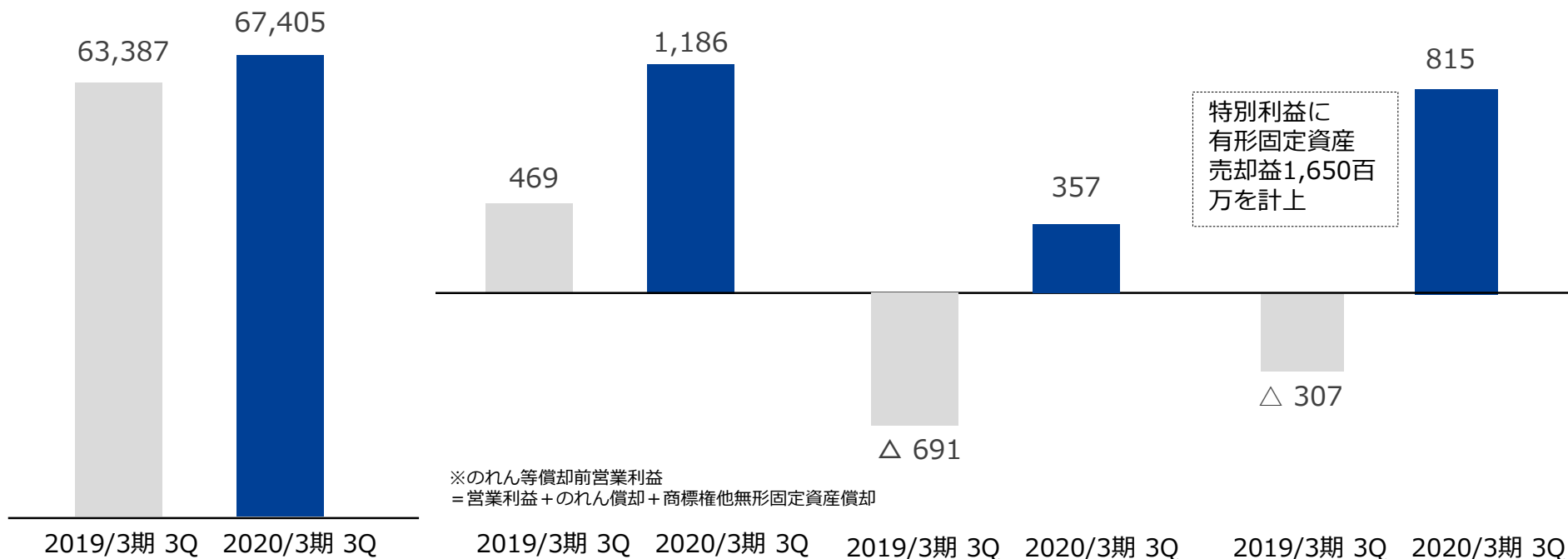
(単位：百万円)

売上高
67,405
前年同期比
+4,017

のれん償却前
営業利益
1,186
前年同期比
+716

営業利益
357
前年同期比
+1,048

親会社株主に帰属
する当期純利益
815
前年同期比
+1,122



メディア・ローカライゼーション事業 増益、映像システム事業 増収増益

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		3Q実績	3Q実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	16,334	20,038	3,704	22.7%
	営業利益又は損失(△)	△ 149	△ 203	△ 53	—
	(営業利益率)	—	—		
映像制作サービス事業	売上高	20,070	19,249	△ 820	△4.1%
	営業利益	170	183	12	7.5%
	(営業利益率)	0.9%	1.0%		
メディア・ローカライゼーション事業	売上高	18,240	16,516	△ 1,723	△9.5%
	営業利益又は損失(△)	△ 1,211	△ 729	481	—
	(営業利益率)	—	—		
映像システム事業	のれん等償却前営業利益又は損失(△)	△ 322	72	395	—
	売上高	10,035	12,784	2,749	27.4%
	営業利益	822	1,478	656	79.8%
(営業利益率)	8.2%	11.6%			
その他(連結調整)	売上高	△ 1,292	△ 1,182	109	—
	営業利益又は損失(△)	△ 323	△ 371	△ 48	—
連結合計	売上高	63,387	67,405	4,017	6.3%
	営業利益又は損失(△)	△ 691	357	1,048	—

劇場映画作品の規模拡大と作品数増加、CM・音楽ライブ収録等により増収

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		3Q実績	3Q実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	16,334	20,038	3,704	22.7%
	営業利益又は損失(△)	△ 149	△ 203	△ 53	—
	(営業利益率)	—	—		

売上高 前年比 **+37.0**億円

- ✓ 劇場映画（実写・アニメ）作品制作規模拡大、作品数増
- ✓ 大型TVドラマ作品の計上
- ✓ CM制作、音楽ライブ収録 順調（大型案件受注）

営業利益 前年比 **▲0.5**億円

- ✓ CM制作、音楽ライブ収録等増収による粗利益増加
- ✓ のれん償却負担減少
- ✓ 映画作品の製作委員会への出資に対する評価損等の影響大

E2Eサービス*分野順調も、人材サービス分野は減収減益

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		3Q実績	3Q実績	前年比増減	前年比増減率
映像制作サービス事業	売上高	20,070	19,249	△ 820	△4.1%
	営業利益	170	183	12	7.5%
	(営業利益率)	0.9%	1.0%		

売上高 前年比 ▲8.2億円

- ✓ E2Eサービス*分野が順調
- ✓ 映画・アニメ向けポストプロダクションサービス堅調
- ✓ 人材サービス分野連結子会社1社売却等による影響

営業利益 前年比 +0.1億円

- ✓ E2Eサービス*分野にて増益
- ✓ ポストプロダクションは原価コントロールが貢献し、利益改善
- ✓ 人材サービス分野にて、投資により販管費増

※E2Eサービス：劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般のこと。主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューションを統合したサービス。

固定費削減策により営業利益が改善

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		3Q実績	3Q実績	前年比増減	前年比増減率
メディア・ローライゼーション事業	売上高	18,240	16,516	△ 1,723	△9.5%
	営業利益又は損失(△)	△ 1,211	△ 729	481	—
	(営業利益率)	—	—		
	のれん等償却前営業利益又は損失(△)	△ 322	72	395	—

売上高 前年比 ▲17.2億円

- ✓ 連結子会社2社売却による減収
- ✓ TV番組向けの受注（欧州）が低調

営業利益 前年比 +4.8億円

- ✓ 制作体制見直しによる固定費削減策が進捗
- ✓ 粗利率の高い制作案件（劇場映画トレーラー制作・ローカライズ等）受注

映像システムとイメージング（ハイスピードカメラ）の両分野で増収増益

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		3Q実績	3Q実績	前年比増減	前年比増減率
映像システム事業	売上高	10,035	12,784	2,749	27.4%
	営業利益	822	1,478	656	79.8%
	(営業利益率)	8.2%	11.6%		

売上高 前年比 **+27.5**億円

- ✓ 映像システム分野 納品順調
- ✓ ハイスピードカメラ新製品の販売が 欧米を中心に好調
- ✓ CMオンライン送稿数が順調に増加

営業利益 前年比 **+6.5**億円

- ✓ 高利益率の大型案件をはじめとした受注増により粗利益が増加

第4四半期に映像システム事業で大型案件を計上予定

映像コンテンツ事業

一部映画作品が来期以降に期ずれしたこと、製作委員会への出資に対する評価損の影響、CM制作の利益が想定より落ち込む見込みであることから、通期で増収減益を見込む

映像制作サービス事業

E2Eサービス分野での好調が続くが、人材サービス分野での子会社売却や投資影響が第4四半期も継続し、通期では減収減益を見込む

メディア・ローカライゼーション事業

TV番組向けの受注（欧州）は低調だが、第4四半期から新しい映像配信プラットフォームからの受注がスタートし、固定費改善も継続することにより、通期で減収増益を見込む

映像システム事業

映像システム分野の放送局向け大型案件が第4四半期に計上予定
ハイスピードカメラの販売好調も継続し、通期で増収増益を見込む

2020年3月期 連結業績予想

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期			
	実績	実績	2019/5/14 予想	今回修正予想	増減	前回増減比
売上高	91,351	90,212	95,000	93,000	△2,000	△2.1%
営業利益	2,424	926	1,680	1,200	△480	△28.6%
(営業利益率)	(2.7%)	(1.0%)	(1.8%)	(1.3%)		
経常利益	2,424	789	1,200	400	△800	△66.7%
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	2,937	△ 2,010	1,800	1,200	△600	△33.3%
1株当たり当期純利益又は純損失(円)	65.98	△ 45.55	40.82	27.21	△13.61	△33.3%

Appendix.

連結損益計算書

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期		
	3Q実績	3Q実績	前年増減額	前年増減比
売上高	63,387	67,405	4,017	6.3%
売上総利益 (売上総利益率)	16,259 25.7%	16,919 25.1%	660	4.1%
営業利益 (営業利益率)	Δ 691 —	357 0.5%	1,048	—
経常利益 (経常利益率)	Δ 685 —	Δ 310 —	374	—
特別利益	372	1,688	1,315	353.5%
特別損失	84	59	Δ 25	Δ 29.5%
税金等調整前当期純利益又は 純損失	Δ 397	1,317	1,715	—
親会社株主に帰属する当期純 利益又は純損失	Δ 307	815	1,122	—
(参考)のれん等償却前営業利益	469	1,186	716	152.7%

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2019年3月期末	2020年3月期 3Q末	前期比
資産の部	流動資産	40,119	34,957	△ 5,161
	うち現預金	6,079	5,720	△ 358
	固定資産	24,606	25,323	717
	うちのれん	3,769	3,215	△ 554
	資産合計	64,725	60,281	△ 4,444
負債・純資産の部	流動負債	26,712	23,067	△ 3,645
	うち短期借入金	5,375	4,593	△ 781
	固定負債	10,115	9,068	△ 1,047
	うち長期借入金	6,169	5,657	△ 512
	負債合計	36,828	32,135	△ 4,692
	株主資本	24,857	25,566	709
	その他包括利益累計額	292	181	△ 111
	新株予約権	—	11	11
	非支配株主持分	2,747	2,386	△ 361
	純資産合計	27,897	28,145	248
	負債純資産合計	64,725	60,281	△ 4,444
	ネット資金	△ 5,465	△ 4,530	935

2019年10月-2020年1月 主なグループTOPICS

2019/10
イマジカ・ライブ

AIスポーツ映像技術のグローバルリーダーであるWSC Sports、Jリーグメディアプロモーション(JMP)と共に日本サッカーの革新的映像コンテンツ配信に着手



2019/11
ROBOT

ROBOT×松竹×ぴあ によるキャラクターコンテンツ『ももまち』岡山県とのコラボアニメーション公開



2019/11
ROBOT

ROBOT 企画・制作の体験型エンタテインメント、11月1日～2020年1月13日公開
「さかなクンと秘密のラボ in サンシャイン水族館」



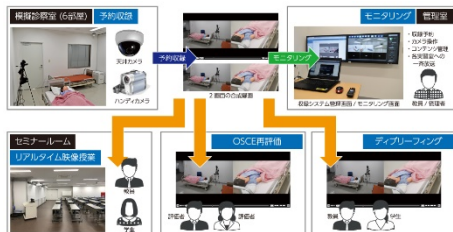
2019/11
IMAGICA Lab.

国内初「Dolby Cinema™ (ドルビーシネマ)」に対応したカラーグレーディング、デジタルシネマパッケージ(DCP)マスタリング、映写サービスを開始



2019/11
フォトロン M&Eソリューションズ

ネットワークカメラ収録システム「Spider Rec」を東邦大学に納入



2019/11
IMAGICA Lab./フォトロン

「Inter BEE 2019 (国際放送機器展)」に出展
次世代の映像制作フローの核となるクラウド技術を活用した最新サービスを提案



2019/12
グループ内3社

ウェザーマップ、オー・エル・エム・デジタル、IMAGICA GROUP 共同開発

東京大学大学院情報理工学系研究科 猿渡研究室と連携し、お天気キャスター 森田正光の声をAIで再現するリアルタイム音声合成システム『バーチャル森田さん』を共同開発

2020/01
イマジカデジタルスケープ

新潟に初進出
デバッグ事業拡大で新拠点開設を決定



2019年7月-10月 主なグループTOPICS

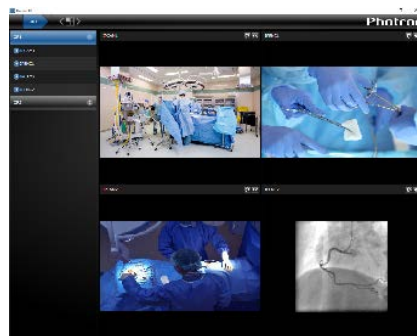
2019/7
IMAGICA Lab.

「日メコン交流年2019」記念事業（映画分野での交流・協力事業）に総合協力企業として参加。日ミャンマー最初の合作映画（1935年）のデジタル復元も



2019/8/5
フォトロンM&Eソリューションズ

手術映像収録配信システム『Kada-OR』
循環器内科向け映像収録配信システム『Kada-Live』
新発売



2019/9/1
IMAGICA GROUP

当社グループの企業経営と企業統治に関する基本姿勢を示した「コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定



2019/9/11
フォトロン

国産2次元CADソフトウェアシリーズ最新版『図脳RAPIDPRO20』・『図脳RAPID20』新発売

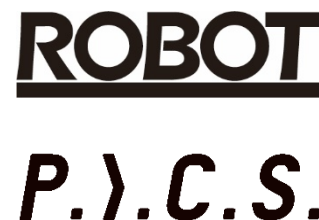


2019 公開劇場映画 制作実績

- 『小さな恋のうた』 5/24～
- 『ウィーアー・リトルゾンビーズ』 6/14～
- 『MONGOL800 -message-』 7/5～
- 『ミュウツーの逆襲 EVOLUTION』 7/12～
- 『アルキメデスの大戦』 7/26～
- 『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』 8/2～
- 『二ノ国』 8/23～
- 『見えない目撃者』 9/20～
- 『任侠学園』 9/27～
- 『ひとよ』 11/8～
- 『映画 妖怪学園Y 猫はHEROになれるか』 12/13～

2019/10
ROBOT・P.I.C.S

地域カルチャーイベント「恵比寿文化祭 2019」の企画として恵比寿ガーデンプレイスでキッズ向けイベント開催



2019/10
IMAGICA Lab.

第32回東京国際映画祭に協賛



2019年4-6 主なグループTOPICS

2019/4/1 IMAGICA Lab.

グループ内ベンチャー制度第1号
デジタル映像会社
「IMAGICA IRIS」事業開始



IMAGICA IRIS

2019/4/1
IMAGICA GROUP

米映像企業Pixelogic Holdings, LLC
の増資引受により株式取得



PIXELOGIC

2019/4 フォトロン

自動車衝突安全試験用高速度カメラ『FASTCAM Mini CX100』を
新発売

FASTCAM
Mini CX



2019/6 IMAGICA Lab.

3Dホログラム生成技術の国内マー
ケティングでリアライズ・モバイ
ル社と協業体制構築



2019/3/24 IMAGICA GROUP/ROBOT

世界初：12 Kワイド映像と照明を同期した未来型ライブビューイングを実施
最先端ライブスペクタクル
「VISIONS SUPER LIVE VIEWING supported by LDH」



2019/6 ROBOT

第72回 広告電通賞にて総合賞、最
高賞などを受賞
「おくる福島民報」スペシャル
ムービー

ROBOT

2019/6 IMAGICA Lab.

第23回 JPPA AWARDS 2019
(日本ポストプロダクション協
会)にて『日日是好日』が
経済産業大臣賞 受賞



お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP 企画部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742 F A X : 03-6741-5752

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。